

集中豪雨・台風等による洪水被害対策について

ビル管理者として必要な集中豪雨や台風による洪水被害に備えて取っておくべき対策・マニュアルを検討・作成しました。

下記の事を念頭に置き、マニュアル及びチェックシートを活用いただき、管理施設の被害を最小限に抑える準備・対策を行ってください。

記

1. 担当している物件エリアのハザードマップ(自治体等発行のもの)を確認し、どのような被害が予測されているのか把握してください。
2. 近隣河川の氾濫による灌水被害や点検不足による排水口の詰まりが想定されます。
日々の点検の重要性を改めて認識いただき、災害の備えてください。
3. 地下階がある施設(駐車場含む)の場合、被害が拡大する恐れが十分に考えられます。
人命最優先を意識し、早めの避難誘導ができる準備をお願いします。
4. 被害発生時の緊急連絡網(公的機関含む)の確認・作成や非常事態時のビルの体制を改めて確認の上、掲示してください。

添付のマニュアル・チェックリストは基本的なものになります。

参考にしていただき、担当管理施設に応じたマニュアル・チェックリストの作成をお願いします。

以上

集中豪雨による浸水被害対応マニュアル

集中豪雨が予想された時点で施設権限者(オーナー)に閉館の対応を確認

閉館・対策指示があった場合

- ① 防水板・土嚢を設置
- ② 排水ポンプの準備 ※地下階がある場合
- ③ 雨水排水ポンプが正常運転しているかを確認(電流値)
※設置されている場合
- ④ 非常放送にて地下階の進入禁止を建物利用者へ指示
※地下階への浸水の危険度が高まった場合、地下系統の電源遮断を協議する事
- ⑤ 地上階にて待機し、外部周辺の状態を常時確認

受変電室・中央監視・防災センター等重要設備が設置された部屋が地下階に設置されている施設は別途対策が必要になります。施設権限者(オーナー)と事前に有事の際の協議をしておきましょう。

集中豪雨・台風時事前準備チェック項目

	確認対象	確認内容
<input type="checkbox"/>	顧客	被害を想定した対策打合せをしているか？
<input type="checkbox"/>	ハザードマップ	管理施設のエリアを把握・掲示する。
<input type="checkbox"/>	防水板	収納場所・取付方法・必要工具を把握しているか？
<input type="checkbox"/>	防水板設置箇所	溝にゴミだまりはないか？固定ネジ穴は正常か？
<input type="checkbox"/>	土嚢	設置場所は決定しているか？収納場所を把握しているか？劣化していないか？
<input type="checkbox"/>	排水ポンプ(地下)	排水ポンプは運転できるか？ホース・配管に異常はないか？
<input type="checkbox"/>	ルーフドレン	詰まりはないか？
<input type="checkbox"/>	雨水・排水枥	土砂やゴミが底に溜まっていないか？
<input type="checkbox"/>	対応備品	バケツ・水掻き(ドライワイパー)・ウエス・養生シート・カップ・長靴 等々